

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年12月11日

【評価実施概要】						
事業所番号		3873700383				
法人名		医療法人社団みのり会				
事業所名		グループホームまほろば				
所在地		西予市三瓶町朝立2番耕地1番地7 (電話) 0894-33-2877				
管理者		日下 史郎				
評価機関名		特定非営利活動法人 JMACS				
所在地		松山市千舟町六丁目1－3チフネビル501				
訪問調査日		平成20年11月18日	評価確定日	平成20年12月11日		
【情報提供票より】 (平成20年10月1日事業所記入)						
(1) 組織概要						
開設年月日		平成15年9月1日				
ユニット数		2 ユニット	利用定員数計	16 人		
職員数		16 人	常勤	16人, 非常勤 0人, 常勤換算 16.0人		
(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)						
家賃 (平均月額)		18,240 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる		
敷 金		有 (円) (無)				
保証金の有無 (入居一時金含む)		有 (円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無		
食材料費		朝食	300 円	昼食	450 円	
		夕食	450 円	おやつ	円	
		または1日当たり 円				
(3) 利用者の概要 (平成20年10月1日現在)						
利用者人数		16 名	男性 1 名	女性 15 名		
要介護1		3 名	要介護2	3 名		
要介護3		8 名	要介護4	0 名		
要介護5		2 名	要支援2	0 名		
年齢	平均	89 歳	最低	64 歳	最高	102 歳
(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算						
指定	(あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護				
指定	あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護				
届出	あり・(なし)	短期利用共同生活介護				
加算	(あり)・なし	医療連携体制加算				

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】	
●職員は、利用者に「ものの大切さ」を教えていただいている。梅ジャムや干大根等の保存食の作り方を教えていただき、共に作って、年間を通して使用されている。又、利用者の手作りのコースター等も活用されていた。 ●管理者は、利用者に「自然体で、今日を一日楽しく過ごしてもらいたい」と考えておられる。利用者の中には、毎日、近くのお地蔵さんに通い、お掃除されている方もある。 ●ソファに座ってテレビをみる方もおられ、傍らに辞書を置いて、わからない言葉を辞書で引き、調べておられた。手すりは、利用者の身体機能に合わせて職員が手作りされている。	
【質向上への取組状況】	
▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目:外部4)	
・ 前回の評価結果を受けて、事業所では、看取り支援について勉強をされた。	
▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目:外部4)	
・ 自己評価は、今年の担当者を中心に他の職員に聞き取りながら作成し、ホーム長・副ホーム長がまとめられた。	
▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目:外部4, 5, 6)	
・ 運営推進会議を通じて、地域の方達とともに認知症やグループホームのことにについて勉強されている。夏祭りや地域の祭り等、地域行事の案内をいただき、利用者とともに参加されている。	
▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目:外部7, 8)	
・ ご家族の来訪時には、ご本人の日々の様子を伝えておられる。又。利用者の誕生日には「誕生日新聞」を作り、ご本人の写真や職員からのコメント等載せておられる。	
▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目:外部3)	
・ 近所の方が回覧板を事業所まで持ってきて下さり、お話をして帰られる。回覧板は、職員と利用者で、次のお宅へ回しておられる。野菜をおすそ分けしてくださったり、外出時には、あいさつを交わしておられる。	

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

[記入方法]

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームまほろば

(ユニット名) 2階ユニット

記入者(管理者) 介護職員 中村 八千代 ・ 丸山 裕子

氏 名 副ホーム長 土居 里美

評価完了日 平成 20 年 10 月 1 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			なれ親しんだ地域での生活支援を職員の思いを一つにし理念を掲げている。		
			(外部評価)		
			事業所では、利用者の生活を支えていけるよう理念が作られている。	※	さらに、貴事業所が地域の中の「地域密着型サービス事業所」として、どのようなことを目指していくのかということについても話し合われてほしい。又、事業所が目指すことについて、地域の方達にも伝えていかれてほしい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			管理者は、朝礼、申し送り・カンファレンス時において理念にもとづいて話をしている、職員は共有し日々取り組んでいる		
			(外部評価)		
			理念は、玄関や居間に掲示されている。理念の中の「利用者のペースに合わせる」を今月の目標にされていた。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			ご家族の訪問時や運営推進委員会等、また、市委託の介護教室を地域に出向き開催し理念を伝え理解して頂くよう努めている。	※	まだまだ認知症に対する理解が不十分で偏見的な見方をする人も多い、認知症介護教室、地域との交流等あらゆる機会を通じ理解を得られるよう努めて行きたい。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組んでいる項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価)		
			散歩や買い物等の外出時地域の方、知人の方と親しく会話したり、また気軽に訪問して頂いたりして楽しいお付き合いをしている。訪問時は湯茶等も提供している。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価)		
			地域のイベントの参加、回覧板の回覧、縁日のお札受け、フリーマーケットの出店等地元の方々との交流に努めている。	※	地区のイベントの参加や回覧板の回覧等地域での知名度ホームへの理解度もあがり、畑を貸してもらったり、縁日の御札も配ってもらえるようになった。
			(外部評価)		
			近所の方が回覧板を事業所まで持ってきて下さり、お話をし帰られる。回覧板は、職員と利用者で、次のお宅へ回しておられる。野菜をおすそ分けして下さったり、外出時には、あいさつを交わしておられる。	※	今後、事業所では、地域の方達に事業所に来ていただけるような機会を作りたいと考えておられる。さらに、地域の方達に認知症についてやグループホームの取り組み等を知っていただき、地域との関係を深めていけるよう、取り組みをすすめていかれてほしい。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価)		
			認知症介護教室を地域に出向いて開催したり、高齢者のいろいろな問題等の相談に応じている。	※	介護教室は平成15年9月の開設来40回を数え、各地区に出向き開催している、認知症の理解と介護に関する諸問題の相談を受けている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価)		
			外部評価の結果を職員全員で検討してサービスの向上に向け努めている。		
			(外部評価)		
			自己評価は、今年の担当者を中心に他の職員に聞き取りながら作成し、ホーム長・副ホーム長がまとめられた。前回の評価結果を受けて、事業所では、看取り支援について勉強をされた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			実施した業務、行事等の報告、グループホームより のお願い等、各委員はそれらに基づき話し合い、いろいろな意見を出してもらい、それらの意見を職員が検討してサービスの向上に活かしている。	※	推進会議等を通じて地域の方々のグループホームへの見方が徐々になって来ている。理解度が一歩前進したと思う。
			(外部評価)		
			運営推進会議を通じて、地域の方達とともに認知症やグループホームのことについて勉強されている。夏祭りや地域の祭り等、地域行事の案内をいただき、利用者とともに参加されている。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			市より委託を受けている認知症介護教室、IADL訓練事業等を通じて常時行き来している。		
			(外部評価)		
			年2回、介護相談員を受け入れておられる。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			制度については、法人内の勉強会等に参加して理解している。開設以来該当者がいないが、必要者ある時は直ちに活用出来るよう努めて行きたい。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			職員全員がカンファレンス時など意見を出し合い考えを深めている。日々防止に向けた取り組みをしている、	※	新聞、テレビ、その他マスコミ等に虐待についての報道があった時はその都度、管理者は問題を取り上げ防止に向け話している。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 十分な時間を取り詳しく説明をして同意を得るようにしている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 自分の意見を表現する事が難しい入居者もいる為、日常の会話の中から不満、苦情を見出せるよう努めている。市委託の介護相談員を受け入れ入居者から直接話を聴けるようにしている。	※	市委託の介護相談員よりグループホーム訪問後、その都度提出される入居者の考えやホームの状況等の訪問報告書に基づき推進会議や職員間で話し合っている。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 受診結果において、変化ある時はその都度電話で知らせている。日常生活状況ホーム内の出来事等は各担当職員が2ヶ月に一度手紙で知らせている。金銭に関しては、利用料請求時出納帳の写しと領収書を添付して送付している。		
			(外部評価)		
			ご家族の来訪時には、ご本人の日々の様子を伝えておられる。又。利用者の誕生日には「誕生日新聞」を作り、ご本人の写真や職員からのコメント等を載せておられる。	※	ご家族に事業所のことをさらに知っていただけるよう、報告の工夫をされてはどうか。例えば、運営推進会議時、話し合われたことや、事業所が特に力を入れて取り組んでいること等についても、ご家族に伝えてはどうか。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱の設置をしたり、家族が意見を出しやすい雰囲気づくりに努めている。入居時に内部苦情申し立て機関、外部苦情申し立て機関のある事を説明している。	※	家族としては身内を見てもらっているとの遠慮があり率直な意見を言いにくい面があると思う、意見を出しやすくするには、どのようにすればよいか職員全員で話し合って今まで以上に取組んで行きたい。
			(外部評価)		
			遠方にお住まいのご家族もあり、家族会はないが、事業所で行う「いもたき会」等の行事時にはご家族の参加があり、ご家族同士が同じテーブルで交流を深められた。		今後さらに、ご家族と関係を深め、相談し、協力を得ながらご本人を支えていけるよう、取り組みをすすめていかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)		
			職員との個人面接、職員会議等を通じて意見、提案を聴く場を設けている。意見、提案を運営に反映している。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価)		
			入居者、家族の状況に応じて何時でも対応出来るような勤務体制をとっている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価)		
			開設来離職者は少ない、職員移動はホーム内の異動で、離職者の補充も法人内のベテラン職員をお願いして入居者へのダメージを最小限度に止めるよう努めている。	※	介護職員への就業希望者が少なく、今後問題となっていくものと思われる、介護職員確保の為、早めの対策を考えていきたい。
			(外部評価)		
			事業所開設当初からの職員も多くおられる。交流のある法人内の事業所から職員が移ってくることもある。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)		
			資格取得、それに伴う研修参加の支援をしている。業務上必要な研修は職員の力量に応じて参加させている。法人内外の研修も業務に支障を来たさない範囲で参加出来るよう図っている。	※	職員の介護技術の向上と励みの為、資格取得の奨励と資格取得に必要な諸経費をグループホームで出している。(一つの資格に対して2回を限度としている)
			(外部評価)		
			職員は、法人内の研修に参加されている。研修内容については、毎月の職員会議時に発表し、共有されている。		現在、人間的なこともあり、外部研修を受講する機会は少な目になっているようであるが、職員が勉強する機会を増やされ、さらにケアの質向上を目指していかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			他グループホームとの相互訪問、GH連絡協議会主催の研修や交流会等を通じて交流を深め、意見を出し合い、情報の交換をしながらサービスの質の向上に努めている		
			(外部評価)		
		南予地区のグループホーム連絡会に参加されたり、町内のグループホーム事業所が集まり、情報交換をされている。			
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			法人内の小旅行、グループホーム職員同士の親睦会、昼食後のコーヒータイム、職員会議等々、また、悩み相談には、正副ホーム長、法人本部長が当たり、職員のストレス軽減に努めている。	※	職員のストレスが蓄積しないよう本音が言える雰囲気づくり、管理者を外した職員会議や親睦会、文章による意見の提出等の方法を考えていきたい。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			人事考課制度あり、考課に基づき個人面接を実施、職員個々との話し合いをしている。資格の取得を勧め、また支援をしている。		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			家族、相談員等から事前に情報を得、それらを踏まえ本人と面談、話を傾聴する中で初期の信頼関係を構築すべく努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			利用に先立ち家族の心配、要望等を傾聴、話し合い、家族が納得出来るよう努めている。		
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)		
			相談内容の状況確認を行い本人の必要としているサービスにつながるよう対応している。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価)		
			入居に当たり事前に本人や家族に見学して頂き雰囲気になれる事から始めている。入居初期においては関わりを多くし話を傾聴、少しずつ生活に馴染めるよう努めている。		
			(外部評価)		
			入居前には、ご本人・ご家族に事業所を見学していただいている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価)		
			生活の中でどのような場面でも入居者と職員が一緒に行っている、職員はいろいろな事を教えてもらう事が多い。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者に「ものの大切さ」を教えていただいている。梅ジャムや干大根等の保存食の作り方を教えていただき、共に作って、年間を通して使用されている。又、利用者の手作りしたコースター等も活用されていた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 入居者の情報や職員の思いを手紙等で知らせる事で家族は本人を共に支えていくという連帯感を持てるようにしている。		
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人の誕生日や行事の参加のよびかけを行ったり、電話などで会話をもてるようにしてよりよい関係の継続に努めている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 馴染みの商店に買い物に行ったり、知人の来訪時にはお茶を飲みながら、おしゃべり等楽しい時間を過ごして頂く事を大切にして関係がとぎれないよう支援に努めている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 皆で楽しく過ごせる時間を多くしながら、気の合う者同士で過ごせる場面作りにも務めている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院された場合は入居者と職員と一緒に度々お見舞いに行ったり、家族に、その後の様子を継続的に聞いている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			場面場面において本人の思いを聞いている、困難な入居者の場合は関わりの中で思いや、意向を見出すべく努めている。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者の日々の様子等を記録し、個々の思いの把握に努めておられる。		
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			一人ひとりの生活歴を本人、家族から聴き取り情報を得ている。入居後も関わりの中から聴き取りに努め把握し職員間で共有している。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			関わりを多く持ち一人ひとりの一日の生活リズムを把握して、食事、排泄の時間バイタルのチェック等も行い心身状態の現状を記録に残している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			家族の訪問時等折に触れ意向や思いを聴き、県外在住の家族においては手紙にて聴いている。担当者を中心にスタッフでカンファレンスを行い介護計画を作成している。		
			(外部評価)		
			ご家族に介護計画書を見ていただき、意見をうかがうようにされている。職員の気づき等を話し合い、計画を作成されている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うと ともに、見直し以前に対応できない変化が 生じた場合は、本人、家族、必要な関係者 と話し合い、現状に即した新たな計画を作 成している	(自己評価)		
			6ヶ月毎に介護計画を見直している。その間1ヶ月 毎に評価をしているが状況の変化が見られた時は期間 内であっても状況に応じ、新たな介護計画を作成し実 行している。		
			(外部評価)		
			毎月のカンファレンス時、担当職員を中心に評価を 行っておられる。利用者の状態変化時には見直しをさ れている。		
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づき や工夫を個別記録に記入し、情報を共有し ながら実践や介護計画の見直しに活かして いる	(自己評価)		
			個別に記録しており、申し送り等で情報を共有しな がら実践し介護計画の見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応 じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な 支援をしている	(自己評価)		
			併設のデイサービスとの相互の支援、法人内の訪問 看護ステーションと医療連携を契約、入居者の健康管 理をしている。同じく法人内の病院にて緊急時の対応 をお願いしている。		
			(外部評価)		
			利用者の希望をうかがい、個々のふるさとを訪問し、 懐かしい方達に会いに行かれることもある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 図書館の利用、地区のイベントの参加、年2回の消防訓練、安全の為に周辺パトロール、学生によるボランティア等地域資源の活用協力を得ている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人の意向や必要性に応じてケアマネ等関係者と話し合っている他のサービスする為の支援をしている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 具体的な実績は無いが問い合わせに対し情報交換はしている。	※	包括支援センターの設立が19年度。20年度に入り入居者の予約状況の問い合わせ等の情報交換はあるが協働はしていない。今後関係強化に向け努めて行きたい。
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 法人内の病院、また、家族や入居者が希望される病院で適切な医療が受けられるよう支援している。		
			(外部評価) 町内の通院介助は、職員が同行されている。通い慣れた歯科を受診されている方も支援されている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 近隣に認知症の専門医がいない為、主治医と相談しながら治療を受けられるよう支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価)		
			医療連携を結んでいる訪問看護ステーションより看護師の訪問を受け入居者の健康管理や医療面での相談、助言を受けている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価)		
			入院時には情報の提供、職員の見舞い時情報を得たりして早期に退院出来るよう努めている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価)		
			重度化した場合について、本人を含め家族の意向を聴いており最大の支援が出来るよう主治医とスタッフとで話し合っている。		
			(外部評価)		
			事業所では、これまでに看取りを行った経験はないが、ご家族からの希望があれば対応できるよう、看取り支援の勉強会を行っておられる。		重度化や終末期のあり方等については、ご家族も不安なことでもあるので、早い段階から話し合うような機会を作っていかれてほしい。
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価)		
			開設来該当者はいない。今後の変化に備えてスタッフ間で最大のケアをするにはどう取り組んで行くのか常に話し合っている。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価)		
			ケア関係者間で十分な情報交換、話し合いをして退所後も関係を断つ事無く訪問等をして住み替えによるダメージの防止に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			言葉掛けには敬語使用を心掛けている。個人情報の取り扱いには充分注意をしている。		
			(外部評価)		
			管理者は、「利用者にはやな思いをさせないような対応」に努めておられる。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			本人の思いや希望を大切にして自己決定が出来るよう職員は統一した支援をしている。		
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			入居者一人ひとりのペースや希望を大切にしてその人らしい暮らしが送れるよう支援している。		
			(外部評価)		
			管理者は、利用者に「自然体で、今日を一日楽しく過ごしてもらいたい」と考えておられる。利用者の中には、毎日、近くのお地藏さんに通い、お掃除されている方もある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 行事や外出時等に化粧やおしゃれを楽しまれている。理美容は入居者の馴染みの店で出来るよう支援している。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 下ごしらえから調理まで共に行っている、食器洗いも各自でされている、入居者と職員が同じテーブルで楽しく食事をしている。なお、誕生日には本人の好きな食べ物を献立に入れている。		
			(外部評価) 事業所の畑で収穫した野菜等を食事に使っておられる。職員は、利用者におかわりをすすめ、味付けや食事の感想を聞いておられた。下膳しようとする利用者に、ご自分で行えるよう、職員は、さりげなくサポートされていた。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) それぞれの各居室内に入居者の好きなお菓子、果物当が置いてあり何時でも自由に楽しめるようにしている。		
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) チェック表にて排泄パターンを把握して、さりげなくトイレ誘導をして気持ちよく排泄出来るよう支援に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			入居者の望む時間帯で入浴できる体制で行っており、体調や気分等タイミング見ながら支援をしている。	※	四季における慣わし、ゆず湯、菖蒲湯やハーブ湯、日常的には、いろいろな温泉のもとを入れ入浴を楽しんでもらえるようにしている。
			(外部評価)		
			一人での入浴を希望される方には、安全やプライバシーに配慮してさりげなく支援されている。入浴を嫌がられる方には、言葉がけを工夫されている。ユニットによって浴槽の大きさに違いがあり、希望により、別ユニットのお風呂を利用する方もいる。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			入居者の体調に合わせて日中の休息が出来るよう支援している。また、生活のリズムを整えて安眠出来るよう日中楽しい時間を多く持つようにしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			一人ひとりに合った、お手伝いをお願いしており入居者の経験や知恵を発揮出来る場面をつくっている。		
			(外部評価)		
			ご自分で掃除機をかけ、自室の掃除をされる方がいる。週刊誌を定期購読されている方もおられる。又、調査訪問時、利用者がお茶とおやつを出してください。又、居間で針仕事をされている方もうかがえた。		
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			家族の理解を得て小額の小遣い程度のお金を所持している入居者もあり近所の店にお菓子を買に行く等一人ひとりの希望がかなえられるよう支援をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			買い物や、自宅が近い入居者は自宅の庭や畑の草引き、また、ホーム周辺の散歩等その日の希望に合わせ戸外に出かけられるよう支援をしている。		
			(外部評価)		
		併設のデイサービスの車を利用して、遠出する事もある。併設の老人保健施設の喫茶コーナーに行かれることもある。			
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			家族の協力のもと、墓参、娘の嫁ぎ先訪問、外食等外出の為の支援をしている。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			入居者が希望された時は何時でも電話出来るようにしている。手紙のやり取りも同じく何時でも出来るように支援している。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			訪問しやすい雰囲気作りを心がけ訪問時リビング、廊下のソファ、居室等希望に応じて過ごして頂いている。湯茶のサービスもしている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)		
			職員全員が認識しており統一したケアを行っている。日々の申し送り等でケアの振り返りを行い拘束の無いケアを心掛けている。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価)		
			居室には鍵は無い、建物内の各ドアも同じ、玄関においては防犯の為夜間20時30分～午前6時30分まで施錠しているが他の時間は開放している。	※	面会時間を制限せず自由に行っている、連絡あれば施錠時間であっても開錠して来訪出来るようにしている。
			(外部評価)		
		日中、玄関に鍵を掛けていない。			
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価)		
			職員は昼夜を通して入居者の様子が把握できる空間にいる事を心掛けている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価)		
			入居者一人ひとりの力量を職員で話し合い把握して必要に応じた管理をしている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価)		
			ヒヤリハットの報告を基に職員間でカンファレンスを行い事故防止に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 法人内の勉強会や消防署の署員の指導での実習、また、マニュアルも常時目に届く所に置いて繰り返し学習している。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年2回の避難訓練を実施している。地域の協力体制としては、運営推進会議を通じてお願いをしている。また、法人内の職員で近隣の在住者の協力体制の組織化もしている。 (外部評価) 年2回避難訓練を実施し、うち1回は、夜間想定で行われている。	※ ※	管理者は南海地震が近いとの事が有り折に触れ、確認の為マニュアルに沿った対応策等を話している 次回は、消防署の方に来ていただき、階段を使って避難する訓練を予定されていた。さらに、いざという時に備え、地域と協力し合えるような体制作りもすすめていかれてほしい。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 入居の相談時家族に説明をしているが、身体機能低下にともない起こりうるリスクに関してはその都度説明して理解を得るよう努めている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日バイタルチェックを実施、排泄等にも注意し、異変が見られたら、記録に残し情報を共有し対応に結びつけている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 一人ひとりのファイルに処方箋を入れており職員が副作用等把握出来るようにしている、また、変更した時は申し送りにて情報を共有している。		
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 食事、おやつ等のメニューの工夫をしたり、散歩やレクレーション等で身体を動かす機会を多くして自然排便出来るようにしている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後一人ひとりの力に応じて見守りや一部介助にて歯磨き等の口腔ケアをしている。また週一回義歯を義歯専用剤にて消毒をしている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養士が献立をたてている、味付けや栄養面の指導も受けている。水分の摂取量を含め食事摂取量をチェックして記録に残し職員は常時情報を共有して対応に努めている。		
			(外部評価) ペットボトルに飲み物を準備して、居室でも水分摂取できるようにされていた。栄養士資格を有する職員がおられる。食事制限のある方は、ご家族と相談しながら、同じものでもカロリーの少ないものを準備する等されている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) マニュアルも作成しており、法人内の研修参加やマニュアルにもとづいた勉強会等で知識をたかめ日々予防、対策に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価)		
			まな板、ふきん等は毎日消毒している調理用具等の衛生管理も十分注意して実施している。食材は毎日新鮮で安全な材料を求め使用している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価)		
			手作りの塀や案内板を設置したり、表札を掛け、入り口付近には草花を植え親しみやすい雰囲気を出す工夫をしている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			四季折々の草花を生けたり、昔の家具や道具を置いたりして生活感や季節感が実感出来る空間作りを心掛けている。		
			(外部評価)		
		利用者手作りの、テーブルセンターやコースターが活用されており、共用空間には、不用品を利用し、利用者とも協力しながら作品を作り、飾られている。			
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)		
			ベランダにベンチを置いたり、廊下にソファを置いて入居者それぞれが思い思いに過ごせるように居場所の工夫をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			馴染みの家具や調度品を持ち込み、居心地よく過ごせるように努めている。		
			(外部評価)		
			仏壇に、御茶をお供えしている方もある。ソファに座ってテレビをみる方もおられ、傍らに辞書を置いて、わからない言葉を辞書で引き、調べておられた。手すりは、利用者の身体機能に合わせて職員が手作りされている。		
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがなく、換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			換気や温度調節はこまめに行っている。臭い対策としてはアロマ等の使用をしている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			入居者の個々の機能に合わせて必要な箇所に手摺や支え棒等を新設したりして出来るだけ自立した生活が送れるよう工夫している。	※	手摺や支え棒は入居者個々の必要な箇所に職員が設置している。
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			各居室のドアやトイレに入居者それぞれに合わせた特徴ある目印等を付け混乱や失敗を防ぐよう工夫をしている。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			玄関やベランダに植えた草花の手入れ、メダカの飼育、建物周辺の畑での作業等建物内外の空間の活用に努めている。		

V. サービスの成果に関する項目		
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	入居者の思いや願を感じ取りながら日々の生活を過ごせる様努めているが、中には意思の疎通が困難な方も有り関わりの中で判断している。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) 1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	食後やおやつ時、また、作業後お茶を飲みながら共に会話等をしながらゆっくり過ごされている場面が毎日見られる。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんどいない	職員は何時も入居者のペースで暮らして頂きたいと対応しているが中には他者の事を気にされ無理に他者に合わせようとする入居者もある。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんどいない	常に笑顔が多く見られそれぞれお手伝い等される事で生き生きとした表情や姿が見られる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんどいない	希望に治えるよう心掛けているが介護度が進み身体的にも、また、意思の伝達が難しい事もあり希望に治えない事もでてきた。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんどいない	主治医による定期受診の実施、緊急時においても法人内の病院にて昼夜を問わず対応出来る体制を取っている。訪問看護ステーションと医療連携もしている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんどいない	否定するような言葉は使わず常に柔軟な対応により日々安心した生活を送られている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) 1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時等に担当者、または他職員共、会話に努め家族の要望を聴き対応に努めている
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	家族、知人、近所の方等の訪問回数が増えつつある。

項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) 1 大いに増えている ② ② ② 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	委員の理解も深まり地域の行事参加等によって地区住民とのふれ合いも多くなっている。
98	職員は、生き活きと働いている (自己評価) 1 ほぼ全ての職員が ② ② ② 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員間の話し合いの中で、いろいろな事を解決しながら楽しく仕事が出来ている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② ② ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	意思を表現する事の困難な入居者もあり全ての入居者の満足度は分からないが職員は満足していただける様常に考えている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) 1 ほぼ全ての家族等が ② ② ② 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	家族から感謝の言葉が聞かれる事も多い、概ね、満足されているものと思うが、職員に対し遠慮する部分もあると思われる。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ・ 前提は固定観念に捉われる事無く自然体での介護。
- ・ 手作りをモットーとしている。ユニット内や各居室を飾る不要品等を再利用した装飾品作り、食品では、梅ジャム、梅ジュース、干し柿、お茶、おやつ等を入居者と一緒到手作りしている。
- ・ 近くにある法人内の病院にて昼夜を問わず緊急時の対応が出来る体制をとっており、入居者家族の安心を得ている。
- ・ 西予市より委託の認知症介護教室、I A D L訓練等を通じて認知症の理解を頂けるよう努めている。